

1



洪水が起きないようにする

～田畑に水を一時的にためることができる～



そ
川沿いを歩いていると、大雨がふったときに、近くの川が
あふれてしまったことを思い出しました。



こんにちは



田は水をためられます



畑の土は水を吸収します

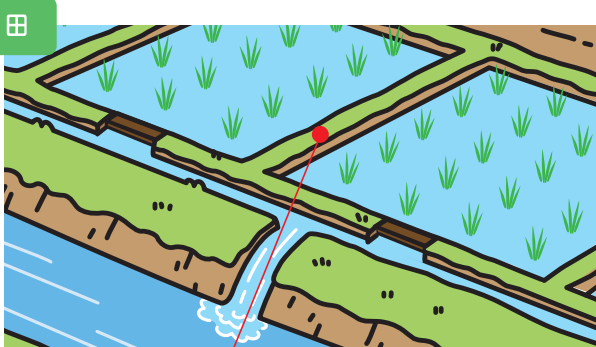


解説

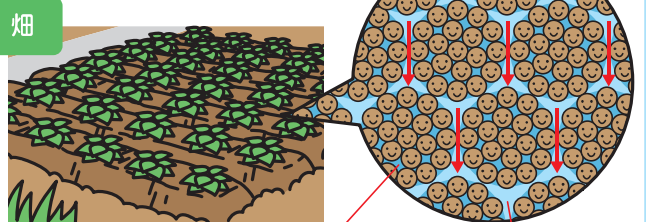


田畑は、水を一時的にためることができます。

田は周りをあぜで囲まれているため、また畑は土のすき間が多い
ため、水をためることができます。このため、洪水を防ぐことにも、
役立っています。



田はあぜで囲まれているので、水をためることができます。



小さなすき間には
水がそのまま残ります

大きなすき間では
水が流れます

畑の土は、大きな団子の中に小さな団子がたくさん
入っているような構造です。雨がふったとき、小さな
団子のすき間に水がたまりま。

2

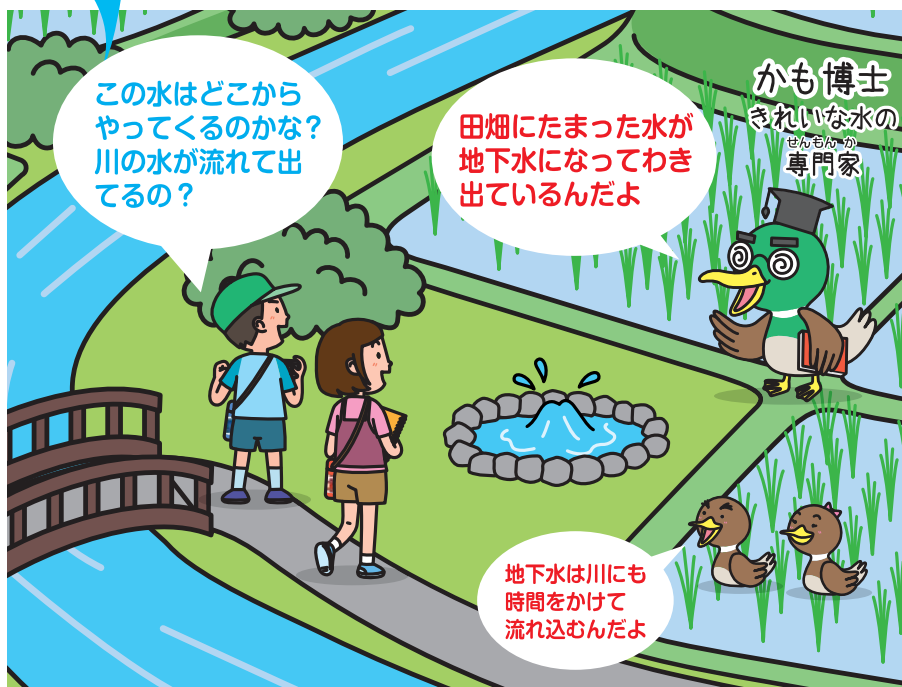
川の流れを安定させ きれいな地下水をつくる



～田畑にためられた水は、川にもどったり地下水になる～



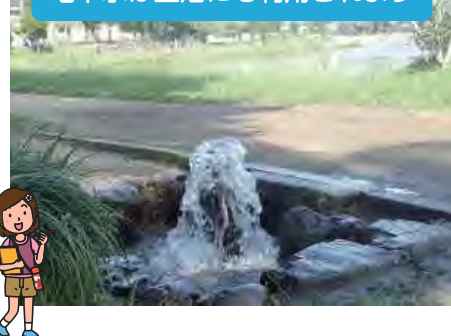
小さな橋をわたると、きれいな水がわき出ていました。



水田の水は地下にしみこみます



地下水は生活にも利用されます



解説



田は、雨水を地下にしみこませて時間をかけて下流に流す働きがあります。

田にたまった水は、一部は排水路から川にもどります。また、一部はゆっくりと地下にしみこみ、地下水となったり川へわき出して、川の流れを安定させる働きがあります。

畑も水をためることができるので、同じ働きがあります。

